

世界遺産検定
3級学習ツール⑦
2022.05

① 『平泉—仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—』に関する

以下の文中の空欄を埋めなさい。仏になることを説く教えは何か。

平安時代末期、死後に極楽浄土へ行き仏になることを説く（.....）が流行した。平泉では、この信仰に基づく理想世界の実現を目指した仏教文化が開花した。

② 『平泉—仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—』の構成資産で、奥州藤原氏 2 代基衡が再興した毛越寺に、唯一残る建築物は何か。

（.....）

③ エチオピアの『ラリベラの岩の聖堂群』の中で最も新しく、ギリシャ十字の形をしている聖堂は何か。

（.....）

④ 『日光の社寺』の「日光山」は、日本古来の神道と大陸伝来の仏教が融合した思想の聖地であった。その思想とは何か。

（.....）

⑤ 『日光の社寺』の「東照宮」の本社の建築様式は何か。

（.....）

⑥ 中国の西安には、前 221 年に中国初の統一国家である秦を築いた人物の陵墓があり、世界遺産に登録されている。その人物は誰か。

（.....）

## ① 浄土思想

平安時代末期、仏の正しい教えがすたれ世が乱れるという末法思想が広まり、救済として浄土思想が流行した。

## ② 浄土庭園

毛越寺は2代基衡が再興したが、当時の建築物は度重なる戦火ですべて焼失した。唯一残るのが浄土庭園。

## ③ ギョルギス聖堂

『ラリベラの岩の聖堂群』は、エルサレムがイスラム勢力の占拠下であり、聖地巡礼ができなかった12世紀末、「第二のエルサレム」を目指して造られたもの。聖堂は全部で11カ所ある。

## ④ 神仏習合

日光山は、8世紀末に修験僧の勝道上人が開いた。『日光の社寺』では神仏習合の例がみられ、東照宮と二荒山神社の二社と、輪王寺の一寺が世界遺産に登録されている。

## ⑤ 権現造り

徳川家康を祀る東照宮の本社は、建造当初は質素な外観であったが、徳川家光による「寛永の大造替」と呼ばれる大改修を経て、豪華絢爛な権現造りの社殿に建て替えられた。

## ⑥ 始皇帝

始皇帝陵は世界でも有数の巨大墓。約40年かけて完成した。始皇帝陵から東に1.5kmの位置にある兵馬俑坑と併せて世界遺産に登録されている。